



主要諸元：(e-Power ハイウェイスターV)

- 全長 × 幅幅 × 全高 / 4,770×1,740×1,865mm
  - ハイールベース / 2,860mm
  - トレッド / 前 : 1,485mm 後 : 1,485mm
  - 車両重量 / 1,760kg
  - 最小回転半径 / 5.5m
  - 発電用エンジン / 1,198cc 直列3気筒 DOHC
  - 最高出力 / 84ps : 6,000rpm
  - 最大トルク / 10.5kgm : 3,200～5,200rpm
  - モーター最高出力 / 136ps
  - モーター最大トルク / 32.6kgm
  - JC08 モード燃費 / 26.2km/ℓ
  - ミッション / 一
  - ブレーキ / 前 / ベンチレーテッドディスク  
後 / ディスク
  - タイヤサイズ / 195/65R15
  - 駆動方式 / FF
  - 乗車定員 / 7名
  - 車両本体価格 / 3,518,640円(税込)

セレナ人気を支える要素の一つに、クラス最高の広い車内空間が挙げられる。室内長3、240mm、室内幅1、545mm。この空間がいかに広大か、運転席から後ろを振り返ってみればよくわかる。8名乗りのセレナでも十分広いが、7名乗りのセレナe-POWERではさらにゆったりとくつろぐことができる。シートアレンジは多彩で、3列でゆったり乗車できるモードから2列でのスーパー리ラックスマード、そして2列目のお子さんがドライバーの近くに座れるベビーケアモードなど、多彩なだけではなく、実用性をしっかりと考慮した上での配慮が行き届いている。

オーナー層は20代後半から40代までのファミリー層が圧倒的に多いとのこと。4名乗車での旅行の際には大量の荷物を

クスマード、そして2列目のお子さんがドライバーの近くに座れるベビーケアモードなど、多彩なだけではなく、実用性をしつかりと考慮した上での配慮が行き届いている。

安全運転を促す万全の機能

卷之六

る際にも全く余裕。確かにフル乗車する  
機会は年に何回かしかないかもしれません  
が、いざという時のアドバンテージは極  
めて大きい上、コミュニケーションがと  
れ、2台3台で移動するよりもはるかに  
効率が良い。カタログ写真はほとんどが  
女性ドライバーであり、運転の頻度から  
察するに、日常的な使用は奥様を想定し  
ている。だからこそその燃費性能であり、安

日産のミニバン、セレナがマイナーチェンジを受けた。よく見かけるクルマだけに凡庸なモデルと思われがちだが、年にグッドデザイン賞、RJCカー・オ'16

日本のN○・1ミニバンがさら  
に進化してマイナーチェンジ

# 日産が誇るミニバン・セレナが 熟成度を増して登場

# NISSAN SERENA

ブ・ザ・イヤー、日本カー・オブ・ザ・イヤー「イノベーション部門賞」、さらに運転支援技術の一つである「プロパイロット」がRJCテクノロジー・オブ・ザ・イヤーを受賞するなど、非常に評価の高いミニバンがセレナである。事実、「19年次RJCテクノロジー・オブ・ザ・イヤーも受賞し、今年上半期において3列シートミニバンの売上首位となつたことからも、その人気のほどがわかる。

ラインアップは2LガソリンエンジンにSHYBRIDシステムを組み合ったノーマル（呼称はセレナ）と、エンジンを発電のためだけに使い、モーターで駆動するセレナe-POWERとに分けられる。4WDのセレナにX・XV・G・ハイウェイスター・ハイウェイスターV。FFのセレナとセレナe-POWERにX・XV・G・ハイウェイスター・ハイウェイスターV・ハイウェイスターGが設定され、全17種類のバリエーション。大きな違いはセレナが8名乗りで4WDとFFの設定があるのに対し、e-POWERは7名乗りでFFのみということだ。北海道では依然として4WD人気が高いのは周知の通りながら、自宅や主たる走行エリアの環境によつてはFFで十分と

広大な空間はそのままに  
外観デザインを大幅刷新

モードは注目したいと

ブ・ザ・イヤー、日本カー・オブ・ザ・イヤー「イノベーション部門賞」、さらに運転支援技術の一つである「プロパイロット」がRJCテクノロジー・オブ・ザ・イヤーを受賞するなど、非常に評価の高いミニバンがセレナである。事実、「19年次RJCテクノロジー・オブ・ザ・イヤーも受賞し、今年上半期において3列シートミニバンの売上首位となつたことからも、その人気のほどがわかる。

ラインアップは2列ガソリンエンジンにS-HYBRIDシステムを組み合わせたノーマル（呼称はセレナ）と、エンジンを発電のためだけに使い、モーターで駆動するセレナe-POWERとに分けられる。4WDのセレナにX-XV・G・ハイウエイスター・ハイウエイスターV。FFのセレナとセレナe-POWERにX-XV・G・ハイウエイスター・ハイウェイスターV・ハイウェイスターGが設定され、全17種類のバリエーション。大きな違いはセレナが8名乗りで4WDとFFの設定があるのに対し、e-POWERは7名乗りでFFのみということだ。北海道では依然として4WD人気が高いのは周知の通りながら、自宅や主たる走行エリアの環境によってはFFで十分と



# 日産が誇るミニバン・セレナが 熟成度を増して登場

# NISSAN SERENA

ブ・ザ・イヤー、日本カー・オブ・ザ・イヤー「イノベーション部門賞」、さらに運転支援技術の一つである「プロパイロット」がRJCテクノロジー・オブ・ザ・イヤーを受賞するなど、非常に評価の高いミニバンがセレナである。事実、「19年次RJCテクノロジー・オブ・ザ・イヤーも受賞し、今年上半期において3列シートミニバンの売上首位となつたことからも、その人気のほどがわかる。

ラインアップは2LガソリンエンジンにSHYBRIDシステムを組み合ったノーマル（呼称はセレナ）と、エンジンを発電のためだけに使い、モーターで駆動するセレナe-POWERとに分けられる。4WDのセレナにX・XV・G・ハイウェイスター・ハイウェイスターV。FFのセレナとセレナe-POWERにX・XV・G・ハイウェイスター・ハイウェイスターV・ハイウェイスターGが設定され、全17種類のバリエーション。大きな違いはセレナが8名乗りで4WDとFFの設定があるのに対し、e-POWERは7名乗りでFFのみということだ。北海道では依然として4WD人気が高いのは周知の通りながら、自宅や主たる走行エリアの環境によつてはFFで十分と



## ディーラーメッセージ

北海道日産自動車 苫小牧店  
カーライフアドバイザー

**石塚 溪太さん**

ゆったりと 7 名乗車でき、モーターの力強い加速が楽しめる e-POWER。8 名乗車でき、S-HYBRID 搭載のガソリンモデル。セレナはお客様のライフスタイルやお住いの環境によって多彩なラインアップの中からお選びいただけます。そして共通しているのはデュアルパッケードアや同クラス No.1 の広い室内などの快適性と、全車標準装備の 360°セーフティアシストによる高度な安全性能です。ファミリーユースのミニバンとして、非常に高い完成度となっていますので、ぜひご試乗ください。



## 乗員の安全性・快適性を徹底的に追及するミニバン

### —インプレッション—

リジェントアラウンドビューモニター、インテリジェントパークリングアシスト、インテリジェントDA（ふらつき警報）などを選択することもできる。そして日産が誇る運転支援技術「プロパイロット」はオプション設定されるので、これらをフル搭載すると、もはや死角はないと言つても過言ではない。ただし、いつも記しているように、こうした機能を過信せず、あくまでもドライバーが安全運転意識を持つことが大前提であることは言つまでもない。

セレナ e-POWER は昨年も試乗しており、低域から 32・6 kgm の最大トルクを発生するモーターでのドライビングは非常に軽快だった。最高出力は 136 ps で、平均的な 2.7 ガソリンエンジンに近い数値だが、セレナのようなミニバンが重視すべきはトルクだと思う。なぜなら多人数での移動を考慮したミニバンだからである。さらに言えば街中のストップ＆ゴーでもトルクが太いほうが運転しやすい。e-POWER システムはセレナにとてもマッチしている。コーナリングマナーも好印象のまま。常用域のスピードからステアリングを急に切り込むと、フロントが沈んだ瞬間にリアがしっかりと追従してくる。ボディ剛性の高さと足回りのセッティングのバランスが良いのだろう、非常にスマーズで安定感のある走りだと思う。

またアクセルペダルだけで加減速できる

e-POWER Drive も便利だ。3つのドライブモードのうち、S モードと ECO モードでは減速力が強く設定されており、アクセルを離すことでエンジンブレーキのような制動力が強く働く。この特性になると、毎日の運転が飛躍的に楽になる。まじで雨や氷雪など滑りやすい路面におけるアーバンティーは大きい。冬道でエンジンブレーキを用いることは常識。しかしエンジンブレーキのみでは間に合わないシーンもかなり多いため、フットブレーキを併用することになる。その際の力加減によってはタイヤがグリップを失い、スリップやスピントにつながることがある。その点 e-POWER Drive はアクセルペダルを戻すだけで制動がかかるので、ブレーキングに神経質にならなくて済む。逆に夏道でこの機能をオフにしたい場合は、ノーマルモードを選択すると制動力が弱まる。切り替えはスイッチ一つなので非常に簡単だ。

セレナはたくさんの機能と魅力が盛り込まれているだけに、その全てをこと細かにご紹介できないのがもどかしい。また安全装備の中には作動させる状況を作り出さないと実感できないものもあり、体験的にお伝えできない部分もあるのは確かだ。だが、日産がファミリー向けミニバンのセレナに安全運転支援技術を惜しみなく投入していることは特筆に値する。そして、その姿勢が多くの人たちに評価されていることこそ、セレナの完成度を裏付ける証である。特に e-POWER は次世代に通ずるモデル。ぜひステアリングを握ってみていただきたい。